

上下水道局

平成30年度 重点目標

- 1 持続可能な事業運営の推進
- 2 きれいで安全な水を供給する上水道事業の推進
- 3 上水道施設の計画的な維持・更新
- 4 下水道施設の計画的な維持・更新
- 5 災害に強い体制の構築

平成30年度 重点目標管理シート

重点目標	持続可能な事業運営の推進			部局名	上下水道局	優先順位	1位
総合計画における位置付け	第2編 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第5節 安定した経営による上水道・下水道事業の継続			まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	戦略 施策体系		
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(1)住みたい住み続けたいと思うまちづくりへの改革 ウ 広域連携の推進、(2)支える財政基盤の改革 ア 歳入の確保 イ 健全な財政基盤の構築						
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・人口の減少等に伴い料金収入が先細りする一方で、老朽施設の更新や耐震化費用が増大することから、平成29年3月に経営の基本計画である「経営戦略」を策定しました。今後もこの「経営戦略」を基本としながら、中長期的な収支バランスに留意しつつ、定期的に事業の見直しを行っていく必要があります。 ・熟練技術者の退職や異動により、技術力の確保・継承が難しくなっているため、危機管理も考慮した人員の確保と人材の計画的な育成が求められています。 						
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・安定した財源を確保するため、収納率の向上や水洗化の促進に取り組みます。 ・給水区域が隣接する県企業局・長野市・上田市・千曲市・坂城町の5事業者で構成する水道事業運営研究会に参加し、広域連携の研究を進め、経営の合理化について検討します。 ・財源を考慮しながら、事業計画において真に必要な事業の選択と集中を行い、毎年ローリングを行いながら事業を推進します。 ・職員に対して外部研修の受講や資格取得を奨励し、人材育成を図ります。 						
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）		
①	○収納率の向上 水道料金・下水道使用料（現年度分）	4月～3月	収納率 水道99.33%（H29実績）以上 下水道99.19%（H29実績）以上	収納率 水道 98.57%（9月末現在。前年同期98.57%） 下水道98.46%（9月末現在。前年同期98.38%）	水道99.39%、下水道99.29%、計99.34% （参考） 平成29年度 水道99.33%、下水道99.19% 計99.26% 平成28年度 水道99.26%、下水道99.15% 計99.20%		
②	○水洗化の促進 公共下水道地域、農業集落排水事業地域の戸別訪問等による水洗化促進の実施	4月～3月	新規接続戸数750戸	新規接続戸数 375戸（9月末現在。目標達成率50.0%） 参考 4月（112戸）、5月（38戸）、6月（49戸）、 7月（71戸）、8月（57戸）、9月（48戸）	新規接続戸数811戸 108.1% 新規接続750戸に対し811戸接続した。 （参考） H29 目標750戸に対し850戸接続 H28 目標700戸に対し972戸接続		
③	○広域連携に向けての研究・検討	4月～3月	水道事業運営研究会への参加 ・全体会 1回 ・広域防災体制分科会 1回 ・水質検査分科会 2回 ・料金徴収分科会 2回 ・施設・給水エリア分科会 1回	水道事業運営研究会への参加 ・全体会 1回（7/19） ・水質検査分科会 1回 ・料金徴収分科会 1回	<ul style="list-style-type: none"> ・水道事業運営研究会への参加 ・全体会2回 ・広域防災体制分科会1回 ・水質分科会1回 ・料金徴収分科会3回 ・施設・給水エリア分科会1回参加 		
④	○事業計画の見直し (1)担当課による事業計画調書の作成 (2)財源に見合った計画の見直し	(1) 5月 (2) 7月	局の投資・財政計画である事業計画の見直しを毎年行い、翌年度以降の実施計画や予算に反映	昨年定めた事業計画（投資・財政計画）を見直し、これを実施計画に反映させた。	昨年定めた事業計画（投資・財政計画）を見直し、これを実施計画と平成31年度当初予算に反映させた。		
⑤	○人材の育成 継続的な外部研修の受講促進や資格取得の奨励による人材育成の実施	4月～3月	外部研修・資格取得研修受講 ・事務系講習会 延べ5人 ・上下水道技術関係 延べ24人 ・作業資格取得講習会 延べ13人	外部研修・資格取得研修受講（9月末現在） ・事務系講習会 延べ7人 ・上下水道技術関係 延べ20人 ・作業資格取得講習会 延べ4人	外部研修・資格取得研修受講 ・事務系講習会 延べ16人 地方公営企業入門、債権管理事務研修等 ・上下水道技術関係 延べ41人 水質管理研修会、管きよの点検・調査等 ・作業資格取得講習会 延べ14人 小型移動式クレーン運転技術講習、玉掛け技能講習等		
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 健全な事業経営によるライフラインの維持。			○取組による効果・残された課題			

重点目標	きれいで安全な水を供給する上水道事業の推進			部局名	上下水道局	優先順位	2位
総合計画における 位置付け	第2編 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第5節 安定した経営による上水道・下水道事業の継続			戦略 まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け 施策体系			
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け		(2) 支える財政基盤の改革 ウ 市有財産の適切な管理と利活用					
現況・課題	上水道の水源は河川の表流水、ダム水、地下水、湧水など28箇所あるが、湧水水源の一部には降雨時における濁質やクリプト汚染など水質が不安定となるものがあるなど、この対策が急務となっている。こうしたことから、上流域にある水質が安定し、水量も豊富な湧水による給水に切り替えを進めているが、これらの水源のさらなる有効活用による維持管理の軽減化が求められています。						
目的・効果	・安定した湧水の活用を行うことにより、現在よりも効率的にきれいで安全な水を安定供給することができるようになります。 ・安心安全な水道を将来にわたって維持し、持続的な水道水の供給を確保するため、取組指針となる「水道事業ビジョン」を平成30年度末までに策定いたします。						
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限 (いつ・いつまでに)	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）		期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	○水源の水質検査強化 水源の水質検査	4月～3月	クリプトスポリジウム検査 12箇所 26検体 指標菌検査 20箇所 92検体	クリプトスポリジウム検査 9箇所 15検体 実施 指標菌検査 20箇所 49検体 実施		クリプトスポリジウム検査 12箇所 26検体 検査終了 指標菌検査 20箇所 92検体 検査終了 【検査結果：検出なし】	
②	○真田地域簡易水道統合事業の推進 つちや・滝の入水源を活用した新たな導・配水管の整備	4月～3月	L=1.2km（整備率54%）	進捗を図るため事業箇所の見直しを行った。 管路 L=3.1km 【発注済】		管路 L=3.4km 【完了】（整備率68%）	
③	○水道事業ビジョン策定 持続可能な水道事業経営と災害に強い強靱な水道の構築を図るため、上水道事業（H31～H40）の将来像と実現施策の計画を策定する。	4月～3月	パブリックコメント及び上下水道審議会の意見聴取を経て3月末公表	上下水道審議会（11/7）に向けたビジョン素案の確認及び修正を実施中		パブリックコメントを12/13～1/15に行い、上下水道審議会の意見聴取を経て3月中旬策定済、3/18公表	
④							
⑤							
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 「安全でよりおいしい、質の高い水の供給」という市民ニーズに対応し、さらに安定的に効率よく水を供給するために各種の事業を実施します。			○取組による効果・残された課題			

重点目標	上水道施設の計画的な維持・更新			部局名	上下水道局	優先順位	3位
総合計画における 位置付け	第2編 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第5節 安定した経営による上水道・下水道事業の継続			まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け		戦略 施策体系	
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け							
現況・課題	上水道は、快適な市民生活や都市活動を営む上で欠くことのできない重要なインフラ施設であり、安全で安心できる水の持続的な供給を確保するため、また、地震等の災害時においても可能な限り給水を維持するため、管路及び水道施設の更新あるいは耐震化について、早急な取り組みが必要となっています。						
目的・効果	上水道施設の計画的更新や耐震化により、大規模災害はもちろんのこと、日常の管破裂などの減少が期待できます。計画的な改築更新を行うことにより、投資額の平準化が図られ、安定した事業運営が期待できます。						
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）		期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	○上水道管路耐震化 管路の耐震化	4月～3月	L=4.0km (真田地域簡易水道統合事業を除く)	L=3.7km 【発注済】 (真田地域簡易水道統合事業を除く)		L=5.1km 【完了】 L=2.3km【発注済】 (真田地域簡易水道統合事業を除く)	
②	○ポンプ設備更新 ポンプ及び自家発電機	4月～3月	上田地域 1箇所 丸子地域 3箇所 武石地域 1箇所	上田地域 事業検討中1箇所 丸子地域 工事中3箇所 武石地域 事業検討中1箇所		上田地域1箇所(須川ポンプ場) 丸子地域3箇所(練合ポンプ、平戸ポンプ、練合平戸自家発電機) 武石地域0箇所(獅子ヶ城第5ポンプ場予定したが再検査により延長使用見込めるため中止)	
③	○薬品注入設備ほか更新 次亜塩素素注入装置、水質計器、監視装置	4月～3月	上田地域 2箇所 丸子地域 2箇所 真田地域 3箇所 武石地域 1箇所	上田地域 入札準備中1箇所、設計中1箇所 丸子地域 工事中1箇所、入札準備中1箇所 真田地域 完了1箇所、工事中1箇所、入札準備中1箇所 武石地域 設計中1箇所		上田地域2箇所(染屋原水濁度計、長入水源監視装置) 丸子地域2箇所(腰越浄水場アルカリ度計、鹿教湯浄水場次亜注入設備) 真田地域3箇所(高原配水池水位計流量計、大松配水池流量計、西北配水池流量計) 武石地域1箇所(獅子ヶ城第2配水池残塩計)	
④	○有収率の向上 漏水調査の実施と漏水箇所の修繕	4月～3月	86.0%	83.61% (9月末現在。前年同期83.9%)		83.5% 漏水調査30.7月～31.2月で実施、漏水79ヵ所修理完了	
⑤	○浄水場及び配水池等の耐震診断業務	4月～3月	上田地域 6箇所 丸子地域 1箇所	事業箇所の見直しをした。当初予定箇所を染屋浄水場1箇所の緩速ろ過池6池に変更し、入札準備中		【事業箇所の見直し】 染屋浄水場1箇所の緩速ろ過池6池委託【発注済】 (2019年9月末完了予定)	
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 安定的に水を供給するために、水道管の耐震化を推進し、各施設の更新事業を実施します。			○取組による効果・残された課題			

重点目標	下水道施設の計画的な維持・更新			部局名	上下水道局	優先順位	4位
総合計画における 位置付け	第2編 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第5節 安定した経営による上水道・下水道事業の継続			戦略 訪れたい・住みたいいうえだ戦略 まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け 施策体系 移住・二地域居住を促進する施策の推進			
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け		(2) 支える財政基盤の改革 ウ 市有財産の適切な管理と利活用					
現況・課題	下水道管渠の整備はほぼ完了しましたが、快適な水環境を創造するためには下水道未整備箇所を早期の解消が必要です。また、人口の減少や少子高齢化の進展、省エネルギー化など、社会情勢の変化に伴い、市民のライフスタイルも大きく変化し、下水の流入量も微増に留まっています。下水道施設の維持管理の効率化を更に図る上で、公共下水道施設への接続が有利と思われる農業集落排水施設については、公共下水道との統合についても検討が必要です。下水道が建設から維持管理の時代に移行していく中、施設の老朽化が課題となっており、老朽化が進む施設の計画的な更新を図るため、下水道施設長寿命化計画を策定し事業を実施しています。安定した下水処理を維持するため、計画に基づいて施設の更新を実施していく必要があります。						
目的・効果	良好な生活環境と水環境を形成するため、下水道未整備箇所の管渠工事を実施します。社会情勢の変化に対応した効率的な施設の維持管理を図るため、農業集落排水施設と公共下水道施設の統合計画を進めます。安定した下水処理を確保するため、下水道施設長寿命化計画による施設の更新を図ります。						
取組項目及び方法・手段（何をどのように）		期間・期限 (いつ・いつまでに)	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）		期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	○南部終末処理場の環境対策 (1) 緑化整備工事 (2) 追加脱臭設備設置工事	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月	(1) 緑化整備工事（芝張工等）の完了 (2) 追加脱臭設備設置工事の完了	(1) 緑化整備工事（芝張工等）7月に完了 (2) 追加脱臭設備実施設計を6月完了、設置工事を設計中		(1) 緑化整備工事（芝張工等）7月に完了 (2) 追加脱臭設備設置工事を11月に発注し、機器製作に時間を要するため7月完了予定	
②	○長寿命化事業及び耐震化事業の実施 (1) 西内処理場の設備更新 (2) 上塩尻・下塩尻ポンプ場の設備更新 (3) 上塩尻・下塩尻ポンプ場の耐震化 (4) スtockマネジメント計画策定	(1) 4月～3月 (2カ年計画：2年目) (2) 10月 (2カ年計画：1年目) (3) 4月～3月 (4) 4月～3月	(1) 西内処理場の更新工事の完了 (2) 上塩尻・下塩尻ポンプ場の更新工事の初年度分着手 (3) 上塩尻・下塩尻ポンプ場の耐震化工事の完了 (4) Stockマネジメント計画の策定	(1) 継続して工事を実施中 (2) 下水道事業団との協定を7月に締結 (3) 下水道事業団との協定を7月に締結 (4) H30追加分を下水道事業団と6月に協定を締結し、繰越分を含めて9月末に現地調査を完了		(1) 更新工事H29分を完了しH30分は4月に完了予定 (2) 下水道事業団の工事発注により3月に請負業者と契約 (3) 下水道事業団の工事発注に不調が続き、4月以降に再入札の予定 (4) 3月末に策定完了	
③	○下水道事業ビジョン策定 施設の効率的運用と健全経営を図るため、下水道事業（H31～H40）の将来像と実現施策計画の策定	4月～3月 (2カ年計画：2年目)	パブリックコメント及び上下水道審議会の意見聴取を経て3月末公表	上下水道審議会（11/7）に向けたビジョン素案の確認及び修正を実施中		パブリックコメントを12/13～1/15に行い、上下水道審議会の意見聴取を経て3月中旬策定済、3/18公表	
④	○農業集落排水の公共下水道への統合事業推進 統合に向けた実施設計及び工事着手	4月～3月	藤原田地区の接続管渠実施設計及び工事着手	実施設計は概ね完了。下流工区工事の10月発注準備完了		実施設計は12月完了 下流側工事を1月に契約し7月末に完了予定	
⑤	○農業集落排水施設の機能強化事業の実施 岡処理場の機能強化工事	4月～3月	岡処理場の機能強化工事の実施	機能強化工事を7月に発注。現在、施工中。		機能強化工事を3月末に完了	
⑥	○下水道未整備箇所の解消 公共下水道計画区域内の未整備箇所の解消	4月～3月	未整備箇所の解消 上田地域：7箇所 丸子地域：2箇所	未整備箇所の解消 上田地域：3箇所を解消し、2箇所を9月に発注 丸子地域：1箇所を解消し、1箇所を9月に発注		未整備箇所の解消 上田地域：7箇所を解消 丸子地域：2箇所を解消（概成済）	
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 ・下水道施設長寿命化計画に基づき、施設等の更新を行い経営の安定化と生活環境の維持に努めます。 ・下水道未普及地域の解消が図れ生活環境が向上するとともに河川などの水質改善が図れます。			○取組による効果・残された課題			

重点目標	災害に強い体制の構築			部局名	上下水道局	優先順位	5位
総合計画における 位置付け	第2編 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第5節 安定した経営による上水道・下水道事業の継続			まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け			
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け							
現況・課題	上下水道建設から維持に携わってきた熟練技術者の退職や職員異動等により、災害時に迅速に対応できる技術の確保が課題となっています。大規模災害などに備え、災害時の応急給水活動体制など、ソフト面での対応が必要です。						
目的・効果	各種の災害に備え、危機管理マニュアルを適時に点検するとともに、災害対応訓練を定期的実施して職員の危機管理対応能力の向上を図ります。						
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）		
①	○災害時等、緊急時の体制整備	4月～3月	大規模災害を想定した初動期における各対策班の具体的業務項目について見直しを、併せて危機管理マニュアルを改訂	具体的業務項目の見直し、危機管理マニュアルの改訂は後期で対応。	・3月末に、震災対策マニュアルの初動体制（発生～72時間）を改訂。		
②	○防災訓練の実施 防災訓練の実施による危機管理対応能力の向上	4月～3月	応急給水訓練 2回 他水道事業者との合同訓練 1回 緊急連絡管操作訓練 1回 灯油等流入事故対応訓練 1回	応急給水訓練3回、緊急連絡管操作訓練1回を実施。 ・ 応急給水訓練（局内）… 8/28参加者31名 ・ 上田市総合防災訓練（市）…9/1参加者12名 ・ 緊急連絡管操作訓練（県水）…7/26参加者26名 ・ 応急給水応援訓練（練馬区）…9/9参加者2名 ・ 灯油等流入事故対応訓練 11月実施予定	応急給水訓練 3回実施 ・ 応急給水訓練（局内）…8/28参加者 31名 ・ 上田市総合防災訓練（市）…9/1・10/22参加者 14名 他水道事業者との合同訓練 3回実施 ・ 応急給水応援訓練（練馬区）…9/9参加者 2名 ・ 水道事業合同防災訓練…参加者 113名（県企業局、長野市、千曲市、坂城町、上田市他8機関） ・ 日水協全国地震等緊急時訓練 県水協情報伝達訓練…1/16 緊急連絡管操作訓練 2回実施 ・ 緊急連絡管操作訓練（県水）…7/26参加者 26名 ・ 緊急連絡管通水訓練（県水）…11/16参加者17名 灯油等流入事故対応訓練 1回実施済 ・ 灯油等流入事故対応訓練 …3/7参加者 17名		
③	○上田市下水道事業継続計画（BCP）の見直し 下水道BCP策定マニュアル改訂に伴う見直し版の策定	4月～3月	下水道BCP策定マニュアル改訂に伴い、改訂項目を反映した見直し版の策定	・7月の庁舎移転に伴う見直し及び国からのBCP改訂策定例に沿って現在策定中 ・10/9にマニュアルに基づく課内訓練を実施予定	・3月末に見直し版の策定を完了		
④							
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 ・各種の災害に備え、職員の危機管理対応能力の向上を図ります。 ・災害時における上下水道機能の継続・早期回復を図ります。			○取組による効果・残された課題			